

橋本 広大 先生

先生のプロフィール

【出身地】

千葉県市川市

【専攻】

刑法

【近年(2~3年)の担当科目】

刑法総論B・ベーシック演習・ミドル演習・アドバンスト演習・
外書購読AIII・AIV

【コロナ後に行きたい場所(国内でも外国でも)】

アフリカ大国の国々



2022年度法友南山 学生から教員へのインタビュー

学生 お忙しい中、インタビューにご協力いただきありがとうございます！早速質問なのですが、まず橋本先生（以下、先生）の専門科目でもある刑法の魅力を教えてください。

先生 刑法の重要テーマの一つに同意というテーマがあって、外見的には同じ行為でも被害者の人の同意があれば犯罪にならないのに、同意がない場合は当然犯罪になることがありますよね。でもなぜそんなに同意っていうものが重視されているのだろうかとか、考え甲斐のある問題がたくさんある点に刑法の魅力があるのではないかと思います。ほかの法律科目についてもいえることですね。

学生 また、なぜ刑法を専攻されたんですか？

先生 大学で法律科目を学び始めてから割とすぐに刑法を面白いと感じるようになり、大学3年生の時にゼミに入る時にも直感で刑法ゼミを選びました。ゼミの先生の刑法の授業が好きだったということも関係しているように思います。みなさんもあると思うのですが、様々な法律科目を学習していると直感的に面白いと思うものがあると思います。

学生 先生は現在、イギリス刑法を比較法の対象として、国際組織犯罪対策における刑事規制について、処罰の早期化や犯罪収益規制について研究をされていますが、その分野を研究の対象としたきっかけを教えてください。

先生 処罰の早期化から興味を持ちました。刑法でよく取り上げる事例の中に、人を殺すつもりで、隣の人の飲んでいるコーヒーに砂糖を入れる行為に関する事例があります。これは、日本では当然のように無罪になるのですが、イギリスでは殺人未遂罪が成立しようと考えています。処罰すべき行為についての考え方が国によって異なるということが分かりますよね。また、処罰をどのくらい早い段階から許容できるかということについても国によって考え方が大きく異なっています。この点、イギリスは共謀罪という、基本的には複数人で犯罪の実行を合意しただけでそれ自体を処罰の対象にするという犯罪類型が存在しています。日本にはそこまで広く共謀を処罰する規定はないので、国ごとの処罰のあり方の根底にある、刑罰に対する考え方の違いに興味をもったのがきっかけです。そして研究をしていくうちに、国際組織犯罪対策というものに興味をもつようになって、その文脈でもどれくらい早い段階から処罰を許容できるのかということが重要な問題として扱われています。また、犯罪収益規制というのはまさに、犯罪組織が得た財産をどれだけ、また、どの

ようにはく奪すべきかという問題で、そのあり方も国によって大きく異なります。犯罪収益規制は国際組織
犯罪対策における刑事規制の重要な一翼を担っており、自然と関心を持つようになりました。

学生 アドバンスト演習は現在、5人という少人数で活動していますが、来年は人数も大幅に増えるということで、
どのような形でゼミを運営していこうという計画などはありますか？

先生 現時点では、人数も増えるので、もう少しゼミの運営みたいところを学生の皆さんに任せたいと思
っています。人数が増えればおのずと開催される企画や扱うお金も増えるので、企画係や合宿係などの役割
を皆さん自身が今年よりも担ってもらい、一つの組織・集団のような感じで進めていきたいと思っています。

学生 先生は、TOEIC でかなりの高得点を取得したことがあるとのことですが、南山生の中で、受験を考えている学生
は多いと思うので、使用した参考書や勉強方法について教えていただけたらと思います。

先生 試験の形式に慣れることはどの試験においても重要であるところ模擬試験形式のテキストが売っているので、
それを使いました。自分が解けなかった問題、リスニングで聞き取れなかった単語などは解説に載っている
ので、模擬テストが載っている一冊のみを使い、その一冊をわからない点が無くなるまで完璧にすることが
効率のよい勉強方法であるように思います。また、公式問題集の方が本番に近い形式なので慣れるという意
味ではよいですし、難易度も本番に近い形で作られていると思います。(より詳しい勉強方法は橋本ゼミに
て！)

学生 最後の質問になるのですが、先生は、以前質問を考えることの重要性について言及されていたと思います。また、
就活をする上で、良い質問ができることは強みになると思うのですが、「良い質問」とは何かを教えていただけ
らと思います。

先生 就活などで理解力があることを示せるのが、話されたことやもらった資料に書いてある情報に基づいて内在
的な質問をすることです。一番簡単なのが、それらの内容について自己矛盾に陥っていないかに注目して、
矛盾点があれば質問をすることや、用語の使い方に関する質問で、その質問をするにあたって「ここでの単
語の使われ方とここでの使われ方は本当に同じなのか」ということに注目して聞いてみることも重要です。
他にもあるのですが・・・(続きは橋本ゼミに入ってから！)

学生 お忙しい中、お時間を割いていただきありがとうございました！これでインタビューは以上です！

★ アドバンスト 橋本 ゼミの実態！(2022年度ゼミ生5名)

★橋本先生のトリセツ

- ・学生のこと尊重し、いきなり否定しない
- ・謙虚！学生と対等な姿勢で議論してくれる
- ・素朴な質問に対しても丁寧にかつ詳しく答えてくれる など

日々や休暇中の課題

【日々の準備、課題】

- ・自分の報告日に向けての資料作成 (レジュメ作成、報告の練習)
- ・事前に配布された資料をゼミ前日までに読んでおくことなど

【長期休暇課題】

- ・特になし

活動内容

毎クォーターの最初の授業で、先生が用意したテーマの中から自分の興味がある内容を選びます。テーマに関する資料も先生の方から基本的に提供されます。これらの資料をまとめる形で報告資料を作成し、担当日に報告、また、テーマに関する議論をします。パワーポイントを作成し報告する学生や、時事問題を取り入れる学生、担当テーマに関する詳細な文献を読んで、報告資料の内容に含めた学生もいます。